



いよいよ本番! 入試当日に向けて 1

自分の実力を出し切るために … 「合格答案への道」再び

1. 試験会場で座席に着いたら、机や椅子の状態をチェックする
2. しだいに気分は落ち着いてくる
*ボーッとなったり、逆に極度に緊張する人もいるが、それは決して珍しいことではないので大丈夫。
3. まず、問題全体にざっと目をとおすとよい。
*「どの問題からやればよいか」「どの順序でやるか」「どの問題にどれくらいの時間かけるか」等を考え、だいたいの心づもりをする。「解きやすそうな問題」から取り組むことが大切。
4. 勘違いは恐ろしい
 - ① 記号で答えるものを語句で答える。（記号を勝手に変えて記入するのも不可）
 - ② 傍線の部分について答えるのに、傍線のないところまで解答する。
 - ③ +とーを書き間違う。
 - ④ 最も正しいものを選べとあるのに二つ書く。

*問い合わせの形式にはいろいろあるが、「文中の言葉で答えよ」「文中の言葉を使って答えよ」「文から書き抜きなさい」では答え方が違う。細心の注意を！
5. 文字はきれいに書くこと。くせ字・丸文字等は厳禁!
*ひらがなの「い・り」「て・と」の区別。
*カタカナの「ア・マ」「ク・ワ」「シ・ツ」「ソ・ン」の区別。
*数字の「1・7」「2・3」「6・0」の区別。
*アルファベットの「C・G」「a・d」「h・n」「I・(数字の) l」の区別。
*「漢字で書きなさい」とあるのに「ひらがな」で書けば正解とはならない。文中の言葉で答えたり、書き抜く場合も細心の注意を払うこと。
6. 時間配分に気をつけよう
*やさしい問題を残してしまったり、難しい問題に時間をかけて、結局、答えが出なかったりしてはせっかくの努力が無駄になる。あちらを半分、こちらを少しなどといったやり方が一番よくない。
7. 問題文をよく読むこと
*「この問題は何を問うているのか」を、よく考えること。そのためにも「問い合わせ」を2回は読んでみる。「何をどのように答えるか」の箇所はすかさずアンダーラインを引く。
8. 乱雑な答えは書かれていのと同じ
 - ① 行が斜めになっている。
 - ② 直線や円を定規やコンパスを使わないので描く。
 - ③ 消しゴムを使わない、使い方が雑で、文字が読みにくい。
 - ④ 書いた後で、横に文字を補う、かっこ書きで書いている。

9. 5と5kg、5mは違う

*単位の必要なものは、必ず単位をつけること。また、文章で答える問題では、句読点を適切に使わないと意味がわからなくなることもある。

10. 余った時間的有效に使う

*間違いは必ずあると思って確かめることが大切。特に、受験番号・名前・記号等は必ず再確認する。また、答えが間違っていると思っても、正しい答えが思い浮かぶまでは、書いた答えを消してはいけない。消したとたんに終了の時刻になり、結局、消したもののが正しい答えだったということもあり得る。

【入試チェックリスト】

	日程【 】	日程【 】	日程【 】	
受験（受検）番号	番	番	番	
学校名				
学科・コース名				
学校住所				
学校電話番号	() -	() -	() -	
自宅からの経路 (交通機関等)	出発予定時刻(:)	出発予定時刻(:)	出発予定時刻(:)	
集合時刻（1日目）	時 分までに集合する	時 分までに集合する	時 分までに集合する	
集合時刻（2日目）	時 分までに集合する	時 分までに集合する	時 分までに集合する	
持ち物	前日チェック	当日チェック	前日チェック	当日チェック
受験（受検）票				
上靴+靴袋				
鉛筆・シャープ				
鉛筆削り				
消しゴム				
定規（分度器付き不可）				
コンパス				
腕時計（計算機付き不可）				
お金（小銭も用意する）サビカ等				
ハンカチ				
ティッシュペーパー				
生徒手帳				
弁当+水筒				
勉強道具				
マスク・予備				
その他				